

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和7年度)

調査表

施設名	宮崎県ひなもり台県民ふれあいの森
指定管理者	公益社団法人 宮崎県森林林業協会
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
県所管部課	環境森林部 森林経営課

1 施設利用状況

指 標	R7	R6	R5	増減理由等
ふれあいの森利用者数(人)	58,354	72,296	78,793	令和7年6月22日以降の新燃岳噴火の影響により、令和7年6月25日から令和7年7月31日までオートキャンプ場を臨時休園した。
オートキャンプ場利用者数(人)	11,809	16,725	20,561	
主催事業参加者数(人)	2,172	2,926	2,831	
コメント	新燃岳の噴火の影響により、オートキャンプ場の臨時休園と主催事業の一部中止を余儀なくされ、利用者数・参加者数が当初計画、前年度実績を下回る結果となった。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収 入	R7	R6	R5	支 出	R7	R6	R5
指定管理料	32,800	32,800	29,500	人件費	29,663	30,490	29,579
利用料金収入	23,027	31,722	37,250	報償費	161	235	250
受取負担金	0	0	0	旅費	424	106	492
雑収入	453	552	421	需用費	10,752	12,683	11,172
				役務費	870	898	1,219
				賃借料	1,325	1,452	1,639
				保険料	424	412	392
				負担金	56	56	66
				委託料	8,748	9,786	10,449
				租税公課	2,965	3,522	3,790
				その他	1,697	1,745	986
				県納付金	0	2,783	7,209
合 計(①)	56,280	65,074	67,171	合 計(②)	57,085	64,168	67,243
収支差額(①-②)	-805	906	-72				
コメント	新燃岳の噴火の影響によるオートキャンプ場の臨時休園等により利用料金収入が減少したことで収支差額はマイナスとなった。						

3 管理運営状況

※下線部分は、令和7年度に新たに取り組んだ内容

事 項		実 施 内 容
維持管理業務	清 掃	宿泊施設、森林体育館、管理車道等の清掃(随時)
	保守・点検	消防設備点検(年2回)、電気設備保守点検(月1回)、浄化槽保守点検(週1回)、給水設備保守点検(随時)等
	警 備	園内巡回、宿直体制による警備(キャンプ場に宿泊者がいる場合)
	修 繕	サニタリーA給湯器修繕、サニタリーB扉(4ヶ所)修繕、キャビン(3ヶ所)水栓取替等
	備品等管理	備品台帳の整備
	安全対策	作業器具の技術研修、救急救命講習会、自衛消防訓練、避難訓練等
	そ の 他	芝生管理、植栽木維持(剪定)
企画運営業務	サービス提供体制整備	通年開園の実施(冬季の安全点検・整備期間等を除く)、メンバーズ割引・子育て支援割引・障がい者割引・ゆったりキャンプ割引(冬季のアーリーチェックイン、レイトチェックアウト)、利用者満足度調査(アンケート)の実施、苦情処理検討会の開催、ひなもり台利用促進協議会の開催、車椅子無料貸出
	イベント等ソフト面充実	企業訪問、イベント案内チラシの発送、新聞・雑誌掲載等による広報活動、インスタグラム・スタッフブログによる情報発信、月見キャンプ等自主イベントの開催
	施設設備等ハード面充実	キッズコーナー(積み木・ウッドプール・絵本)の拡充、期間限定でフォトスポットの設置
	そ の 他	地元産品販売
管理運営体制		職員の能力を育成する接遇研修や技術研修等の実施
コメント	維持管理業務は施設の清掃等に加え、職員の技術研修も実施するなど適正に行われている。企画運営業務は各種割引制度や広報活動の実施等、積極的に利用者拡大に向けた取組を行っている。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
施設・設備の管理や職員対応等については概ね高い評価を得ているが、木製遊具について増設の要望がある。	引き続き県と連携しながら検討していく。
オートキャンプ場のWi-Fiが繋がりにくい場所があり改善の要望がある。	引き続き県と連携しながら検討していく。

5 総合評価

評価コメント	マスメディアやSNSを活用した積極的な情報発信、職員の接遇マナー研修の実施、きめ細かな場内設備などリピーターの確保やサービス向上に取り組んでいる。その結果、利用者からは、高い評価を得るとともに、オートキャンプ場は、5つ星(最高評価)の認定を受けるなど、良好な管理運営が行われている。
今後の課題と対応	天候や周辺環境等の影響を考慮し、安全第一の運営を行っていくとともに、利用者増加のためひなもり台の更なる魅力の創出と配信を行っていく必要である。